

## 第4学年 ふるさと科学習指導案

児童 男9名 女7名 計16名

授業者 教諭 阿部光浩

1 題材名 防災について考えよう

2 題材の目標

◎ 日常生活の様々な場面で発生する災害、事故、怪我の危険を理解し、安全な行動ができるようにする。

3 題材について

(1) 児童について

東日本大震災では、迅速に避難できた児童がいた一方で、家族が犠牲になる等の被害に遭い、心に大きな傷を負った児童が多く、現在も心のサポートを行っている。今後はサポートを継続しながらも、防災教育で目指している「災害に適切に対応する能力」の基礎を培っていかなければならない。特に、児童に、自ら危険を予測し回避するために習得した知識に基づいて的確に判断し、迅速な行動をとることができる力を身に付けさせることが必要である。

(2) 題材の指導と系統性について

上記の能力を育成するためには、日常生活において、状況を判断し最善を尽くそうとする「主体的に行動する態度」を身に付けさせることが重要であると考え。そこで、本単元では、日常生活の様々な場面で発生する災害、事故、怪我の危険を理解させることを通して、防災・安全について主体的に行動する児童を育てていきたい。そして、中学校ではその能力を更に磨くとともに、主体的な行動を吉里吉里地域の復興・発展のために役立てていく人材の育成につなげていきたい。

4 題材の指導計画（全12時間）

1時 オリエンテーション（防災学習の計画と見通し）

2時 災害でけがをした時は

3時 災害時の危険を防ぐには

4～5時 吉里吉里の安全、危険な場所

6時 心のサポートの仕方

7～8時 避難・防災訓練

9時 マイ防災リュックをつくろう（本時）

10～12時 学んだ事を地域に発信しよう

5 本時の指導（9/12時）

(1) 目標

◎ 災害時の非常持ち出し品や備蓄について考え、主体的に備える行動ができるようにする。

(2) 研究との関わり

〈視点2〉児童の思考が深まる学び合いの工夫について

全体での学び合いにおいて、みんなで発言をつながげながら、友達の考えを聞いたり、友達に伝えたりすることによって、自分の考えをより深めさせる。

〈視点3〉ねらいに沿った学習及び振り返りの在り方について

自分達の考えと防災の専門家の話との共通点や相違点を考えさせ、家庭での備えの実践につなげる。

(3) 本時の評価規準

評価規準	指導の手立て
災害時の非常持ち出し品や備蓄について考え、主体的に備える行動を実践しようとしている。	ペアトークや全体での話し合いの際に、衣食住の観点から必要な物を考えるよう助言していく。

(4) 展開

段階	活動内容 (●発問 ○児童の反応例)	・指導の手立てと留意点 ◇評価
課題把握 5分	<p>1 今日の問題を確認する。 ●大雨に伴い、高潮・床上浸水などの被害の危険が高まり、高台の避難所へ移動するよう指示が出ました。この大雨は3日間続くという予報です。避難所生活で、どんな物があれば3日間を乗り切れるでしょう。</p> <p>2 今日の学習課題を確認する。</p>	<p>・現実に起こりそうな状況を設定し、自分達のとるべき行動を考えさせることで、本時の課題につなげる。</p>
<p>災害のため家族で避難する時、どんな物を準備すればいいか考えよう。「マイ防災リュック作り」</p>		
学び合い 30分	<p>3 学習課題について学び合う。</p> <p>(1) 予想する。 ●避難所生活に必要な物を考えてみましょう。できれば、その理由も教えてください。 ○なるべく多くのペットボトルに水を入れて持って行けばよい。飲み水や洗い物、トイレに使うから。 ○ろうそくを持って行く。電気が止まると思うから。</p> <p>(2) 防災の専門家の話を聞くとともに、非常持ち出し品等を実際に使う体験をする。</p> <p>(3) 体験の感想を出し合う。 ○食料や水は必ず準備するべきだと分かった。 ○避難所では調理ができないから、かんづめやお菓子などの保存食を持って行くとよいと分かった。</p> <p>(4) マイ防災リュックをつくる。 ●消防隊員のお話や体験を生かして、マイ防災リュックをつくってみましょう。それを、ペアや全体で交流し合しましょう。 ○私は、リュックの中に薬を入れた。おじいちゃんが毎食後に飲んでいるから。 ○僕は、厚い衣服を入れた。母は、寒いと具合を悪くしやすいから。 ○私は、電池をたくさん入れた。みんなでラジオをずっと聞くことになると思うから。</p>	<p>・自分の予想をワークシートに書かせる。</p> <p>・話し合いの時は、児童にシートに書かせず、考えて発言することに集中させる。</p> <p>・専門家の方には、自分達の命をつなぐために欠かすことのできない備えを中心に話してもらおう。</p> <p>・保存食の使い方や防災ラジオの使い方などを実際に体験させてもらう。</p> <p>・ワークシートのリュックの図の中に、3日分の物を書かせる。</p> <p>・学び合いを深めるために、マイ防災リュックの中の物について、ペアトーク→全体という流れで交流させる。</p> <p>◇災害時の非常持ち出し品や備蓄について考え、主体的に備える行動を実践しようとしている。 (発言・ワークシート)</p>
まとめ 10分	<p>4 学習課題についてまとめる。</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>食べ物、着る物など、命を守るための物を必ず持って避難する。</p> </div> <p>5 今日の学びを振り返る。 ●今日の学習を振り返りましょう。 ○私家では防災リュックをつくっていないので、今度の休みの日にみんなに今日習った事を伝えて、家族全員で防災リュックをつくりたいと思った。 ●次の時間は、防災について家族や地域の人へのインタビューなどをする調査活動を行います。</p>	<p>・予想時の考えと比べて、自分の考えがどのように深まったかという視点を大事にして書かせる。</p> <p>◇災害時の非常持ち出し品や備蓄について考え、主体的に備える行動を実践しようとしている。(ワークシート)</p>

